

編集室

好きの反対は無関心だという。そうだとすると、何の分野でも、人物でも、作品でも、無関心な人の心を動かし、魅了し、関心を持たせるような存在にこそ、本当の価値があるのではないか。誰かが以前、メディアでそんなことを語っていたか、または文章を読んだ記憶がある。いや、もしかすると自分でそう考えていただけかもしれない。無関心の反対は好き、嫌いの両方という捉え方など諸説あるようだが、ここでは触れない。

映画や本、音楽、絵画等々。無関心だった（気に留めていなかった、心に引っかからなかった）ものに、ふとしたきっかけで興味や関心がわく。そしてだんだんと好きになっていく。そんなことが時たまある。きっと誰しもあるだろう。

歌や歌手なら、その楽曲を一日何回も、何日も聴き続けたり、同じ作家の小説を次から次へと読み続けたり、何度も同じ映画を見たりする。年齢を重ねていくにつれて新しいものに接する機会は少なくなりがちだ。だからこそ、新たな刺激を受け入れていくことの大切さに気づく。

最近、ある歌手を好きになった。名前や存在は知っていたが、声が胸に刺さった。いろいろな楽曲を知り、人となり調べた。今までどうして心に引っかからなかった（無関心だった）のだろうと少し後悔した。

お恥ずかしい話だが、去年初めて心からクラシック（音楽）を素晴らしいと思えた。もともと弦楽器の音色は好きだったが、ある演奏家が奏でるヴァイオリンが心を満たした。大げさかもしれないが、心を閉じてしまうと響くものも響かないということかもしれない。いくつになっても新しいものを吸収しよう。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。いつまでもみずみずしい感性を保ってください。

（編集長 北村豊）

STAFF

◎取材協力

学事部	国際センター
各学部事務室	入学センター
大学院事務室	キャリアセンター
学生部	学友会
ボランティアセンター	経理研究所
中央図書館	学員会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎学生記者

三ツ巻奈央(法4)	西沢美咲(総合政策4)
森美樹(文4)	芳賀葵(法4)
櫻井陸(文4)	近藤陽太(経済3)
堪山泰瞬(商3)	島田莉帆(文3)
影原風音(文3)	海老澤英奈(文3)
倉塚凜々子(国際経営3)	白井美有(国際経営3)
谷井花蓮(総合政策3)	高橋璃々(経済2)
合志瑠夏(経済2)	酒井優実(商2)
吉田未来(理工2)	三浦菜々花(国際経営2)
鈴木萌結(国際経営2)	北村結(総合政策2)
小西結音(総合政策2)	池田さくら(文1)
高橋来佳(文1)	= 順不同

◎制作協力

植田知美 北村美紀(株式会社CCG MANABI)
加藤タカミツ(写真家)
鈴木充(広研印刷株式会社)

Web版はこちらから閲覧できます。
「HAKUMON Chuo」の取材や
編集に携わる「学生記者」も募集中です。



NEXT
ISSUE

『HAKUMON Chuo』2024春号
No.281 4月2日発行予定

学生記者が
総力取材!!

お楽しみに!



2024 早春号 No.280

2024(令和6)年3月24日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

『HAKUMON Chuo』編集担当メールアドレス：hc-grp@g.chuo-u.ac.jp